

# WESTERN UNION EXPRESS

§ § ウェスタン・ユニオン・特急便 第32号 2016年4月9日(土) 発行 § §

## 「レヴェナント：蘇えりし者」



いやあー驚きましたね！アカデミー賞主要部門で3つのオスカーに輝きました。レオナルド・デカプリオが念願の主演男優賞を取ったって大騒ぎですね。えーと、イナリズシじゃなくて、なんか難しい名前の監督さんも2年連続で受賞しました。コングラチュレイション！今回ばかりは、前評判が抜群だったから、「叡智がもたらす予知できた受賞」だったのかもしれませんがね。一番うれしかったのは、撮影賞で受賞できたことです。この賞はワンランク低く見られがちですが、映画は映像こそが命、だから撮影賞は最も価値ある大事な賞だといえますね。特に『レヴェナント：蘇えりし者』のような映画では、“Absolute Wilderness”（絶対的野生）がテーマの一つになっている訳ですから、雄大というよりも、野蛮で荒々しい人を寄せ付けない大自然の景趣も大きな見せ場になっていると思うのです。スクリーンで堪能しましょう。

トラッパーとかマウンテンマンの映画というと、西部劇の中でも時代が古すぎて今一つ人気がありませんが、これぞ西部開拓劇の原点ともいえるべきものでしょう。でも、日本的には大自然の中で繰り広げるサバイバル人間ドラマという売りでしょうか。日本公開は4月22日(金) TOHOシネマズ 日劇ほか 全国でロードショーされる予定です。賞を取ったから混みそうだな～あ。

### ＊ ＊ アラモ砦の戦いから180年 ＊ ＊

今年3月6日でアラモの陥落から180年が経った。ジョン・ウェインが心血を注いだ映画『アラモ』の完成から今年で56年目だが、未だにディレクターズ・カット版のブルーレイが発売されていない。

何時になったら発売してくれるのかと、首を長くして待っているファンもいるだろうと思うが、実はどうしても出せない事情があるのだ。

『アラモ』が完成し203分という長時間上映のプレミアを行ったところ、長すぎると不評で、70<sup>mm</sup>ロードショー用に11分削られ、さらに一般公開用の35<sup>mm</sup>版に編集するため再び25分間短くされた。この編集作業は、ジョン・ウェインが映画『ハタリ！』のロケでアフリカに行っているときに、マイケル・ウェインと編集者のスチュアート・ギルモアに

## = 続々公開される最新WESTERN =

さて、今年米国で9月23日に公開が予定されているのが、リメイクの大作『The Magnificent Seven』だ。監督は『ティーンズ・オブ・ザ・サン』、今年6月日本公開されるスポーツ映画『サウスポー』の黒人監督アントワーン・フークアだ。主な出演者は、デンゼル・ワシントン、クリス・プラット、イーサン・ホーク、韓国人のイ・ビョンホンなど。日本でも公開されると思うので、乞うご期待。



来年度の完成を目指してこれから制作に掛かるクリスチャン・ベイルの最新作『Hostiles』は、伝説的な陸軍の士官が、図らずもシャイアン族の族長と家族を、危険地帯を通って護衛していく任務に就く物語。監督は『クレイジー・ハート』のスコット・クーパー。

ダコタ・ファニング、ガイ・ピアーズ主演で製作を始めたスリラー・ウェスタン『Brimstone』(2016年中完成予定)は、オランダとフランス合作のEUウェスタン。

既に公開された作品：スコット・イーストウッド主演の『Diablo』(2016年1月8日公開)はあまり芳しい評価は得られなかった。いつ公開するんだと何度も紹介してきたナタリー・ポートマン主演の『Jane Got A Gun』が2016年1月29日ようやく公開の運びとなった。キーファー・サザーランドが父親のドナルド・サザーランド、デミィ・ムーアと共演した『Forsaken』(2016年2月19日公開)は結構評判が良かったようだ。観たいねえ。(田口)



よって、65<sup>mm</sup>オリジナル・ネガに鉄が入れられた。切り取ったネガは破棄され、全長版のネガは保存されなかった。91年にカナダのトロントで、70<sup>mm</sup>映写用フィルムが無垢の状態で見つかり、それをもとにビデオとレーザー・ディスクが作られたのだが、そのあとこのフィルムもぞんざいに扱われた。MGMに対して修復保存キャンペーンが行われたり、フィルムの保存活動をしているロバート・A・ハリスによって修復が試みられたが、フィルムの状態が劣化しており、復元することは出来なかったらしい。日本でも1995年に、ワーナー・ホーム・ビデオから、今となっては貴重なディレクターズ・カット版のビデオ2枚組とLD2枚組が発売されていた。大事にしろよ！

# 1990年から2015年公開 あなたが選んだ西部劇ベスト10



順位	邦題	得点	総件数
1	許されざる者	320	44
2	トゥムストーン	283	42
3	ダンス・ウィズ・ウルブス	239	35
4	ワイルド・レンジ:最後の銃撃	220	35
5	トゥルー・グリット	213	43
6	3時10分、決断のとき	161	34
7	ジェロニモ	151	28
8	ワイアット・アープ	110	20
9	ミッシング	102	16
10	ラスト・オブ・モヒカン	89	15

## 1位を獲得した件数ベスト3

1	許されざる者	14	
2	トゥムストーン	10	
3	ダンス・ウィズ・ウルブス	8	

順位	邦題	得点	総件数
11	グローリー	71	12
12	クイック&デッド	65	12
13	ヤングガン2	55	13
14	マーヴェリック	53	16
15	モンタナの風に抱かれて	50	11
15	ネイティブ・ハート	50	9
15	バック・トゥ・ザ・フューチャー3	50	8
18	オーシャン・オブ・ファイヤー	46	8
19	レジェンド・オブ・フォール	44	10
20	悪党に肅清を	34	8

## <集計するにあたって>

今回のアンケートには、57名の方に参加して戴きました。総件数は、各人がその作品を選んだ数です。

得点は、1位を10点とし、以下1点ごと減らして10位を1点として、各順位の件数との積を加算合計して出しました。但し、1人の方が、順不同で10作品を選んだため、この場合は、1作品当たり平均点を5点として、6位のところに1件ずつ加えました。また、最近の映画はあまり見ていない、10本選択できない等の理由で、数本の作品しか挙げられなかった方の作品は、各作品を1点として10位のところに加えました。

総合21位以下で、今回ベスト10に名を連ねた作品は、合計59本ありました。作品名は下記の通りです。

『ジャンゴ 繋がれざる者』、『コールド・マウンテン』、『バッド・ガールズ』、『遙かなる大地へ』\*、『テキサス・レンジャーズ』、『パトリオット』、『ローン・レンジャー』、『ジェシー・ジェームズの暗殺』、『アラモ』、『すべての美しい馬』、『ハイロー・カントリー』、『黒豹のバラード』、『メルキアデス〜3度の埋葬』、『アメリカン・アウトロー』、『シティ・スリッカーズ』、『私が愛したグリンゴ』、『荒野の忒挺拳銃 バーボンのミキ(真・女立喰師列伝シリーズ)』\*、『デッドマン』、『ブロークバック・マウンテン』、『DUST ダスト』、『ウインド・ウォーカー』、『アメリカン・レガシー』、『楽園をください』、『レジェンド・オブ・ゾロ』、『ニュー・ワールド』、『マスク・オブ・ゾロ』、『ラスト・アウトロー』、『シャンハイ・ヌーン』、『荒野はつらいよ』、『ニュートン・ボーイス』、『シティ・スリッカーズ2』、『ランゴ(アニメ)』、『ワイルド・ワイルド・ウェスト』、『EAST MEETS WEST』、『J&S さすらいの逃亡者』、『決闘の大地で』、『スピリット(アニメ)』、『カウボーイ&エイリアン』、『スキヤキウエスタン・ジャンゴ』\*

『シティアスリッカーズ』、『私が愛したグリンゴ』、『荒野の忒挺拳銃 バーボンのミキ(真・女立喰師列伝シリーズ)』\*、『デッドマン』、『ブロークバック・マウンテン』、『DUST ダスト』、『ウインド・ウォーカー』、『アメリカン・レガシー』、『楽園をください』、『レジェンド・オブ・ゾロ』、『ニュー・ワールド』、『マスク・オブ・ゾロ』、『ラスト・アウトロー』、『シャンハイ・ヌーン』、『荒野はつらいよ』、『ニュートン・ボーイス』、『シティ・スリッカーズ2』、『ランゴ(アニメ)』、『ワイルド・ワイルド・ウェスト』、『EAST MEETS WEST』、『J&S さすらいの逃亡者』、『決闘の大地で』、『スピリット(アニメ)』、『カウボーイ&エイリアン』、『スキヤキウエスタン・ジャンゴ』\*

\*印の作品は、当初選んだ65作品以外に、参加者が任意でベスト10に選んだ作品です。

「何本の作品を観たか」との問いに答えてくれた中で、数が多かったベスト3の方は:長嶺清さん(64本)、吉田研一さん(56本)、安東達也さん(54本)、坂本雄一郎さん(54本)、の4人でした。60作品以上観た方は1名のみでした。下記は見た作品の数を比率で表した円グラフです。?は本数欄に数を?とした方1名を表しています。

アンケートにご協力戴まして、ありがとうございました。

(集計:田口 利人)

